



# 第77期 中間報告書

(平成24年3月1日から  
平成24年8月31日まで)

**岡谷鋼機株式会社**

証券コード 7485

# 株主の皆様へ

---

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第77期上半期(第2四半期連結累計期間：平成24年3月1日から平成24年8月31日まで)を終了いたしましたので、ここに営業の概況等をご報告申し上げます。

平成24年10月

取締役社長

岡谷篤一



# 営業の概況

## 営業の経過及び成果

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、東日本大震災の復興にむけて緩やかに回復しました。世界経済は、高い成長率を維持してきた中国をはじめとするアジア諸国に支えられ拡大してきましたが、最近では中国、インドなどの新興国経済の減速感が強まってきました。また、欧州ではギリシャ・イタリア・スペインなどの財政危機問題は予断を許さない状況が続いています。

このような状況下にあって、前年の東日本大震災による経済の停滞から回復し、当第2四半期連結累計期間における売上高は、3,553億97百万円で前年同期比7.3%の増収となりました。

損益につきましては、売上総利益が230億69百万円（前年同期比10.4%増）、営業利益が61億96百万円（前年同期比54.5%増）、経常利益が73億68百万円（前年同期比47.1%増）となりました。また、当四半期純利益は46億39百万円で、前年は特別利益の計上があったこともあり前年同期比4.1%減となりました。

中間配当金につきましては、1株あたり12円とし、支払開始日を10月31日とさせていただきます。

## 通期（平成24年度）の見通し

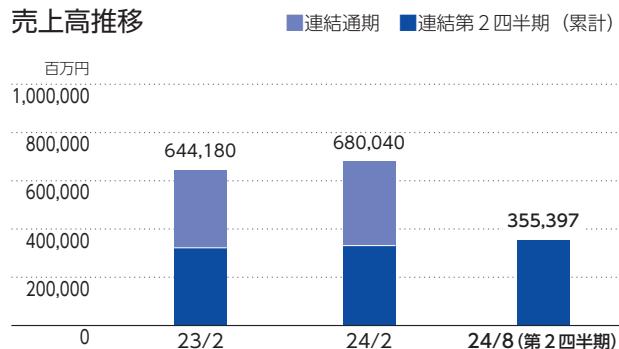
通期の業績予想につきましては、国内外経済の先行きが不透明ではありますが、売上高は7,300億円を予想しております。

経常利益は130億円、当期純利益は85億円を予想しております。

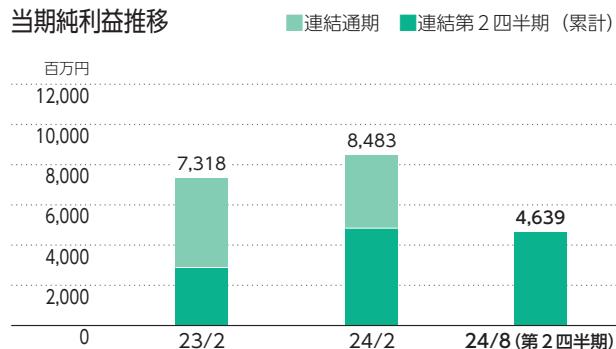
株主の皆様には、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

# 財務ハイライト

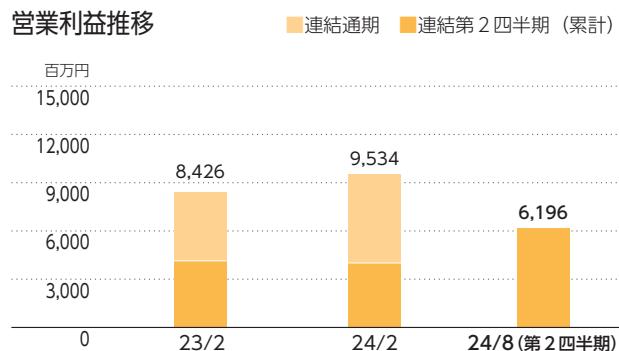
## 売上高推移



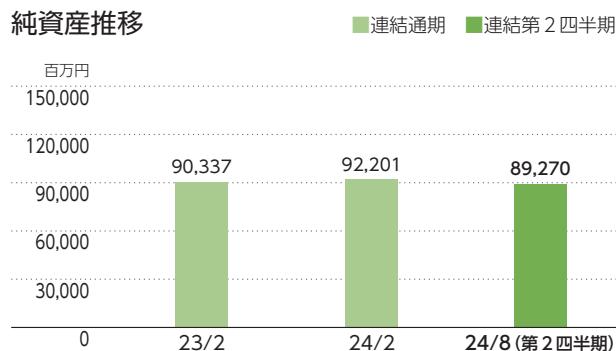
## 当期純利益推移



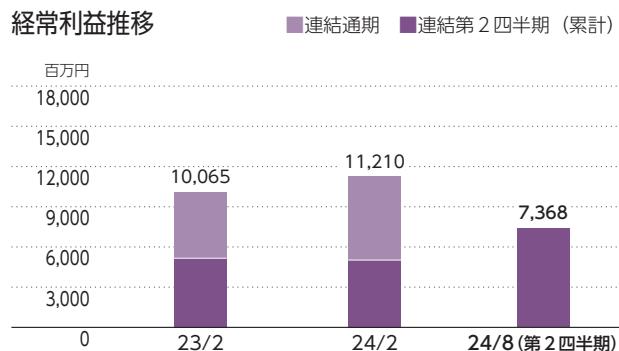
## 営業利益推移



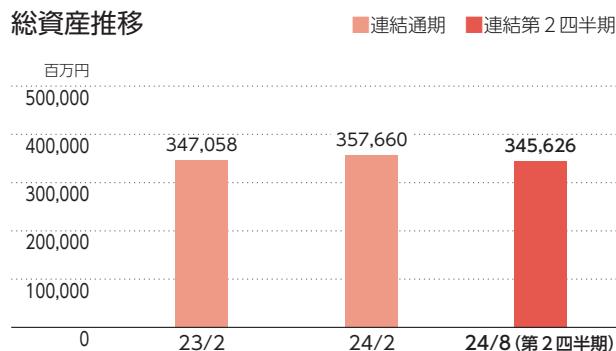
## 純資産推移



## 経常利益推移



## 総資産推移



# トピックス

## 1. ブラジル現地法人の設立

2012年4月

ブラジル連邦共和国サンパウロ市に商社現地法人を設立することを決定しました。同国の経済成長に伴い自動車を始めとした工業生産が増加すると予想され、商社機能を十分発揮するために拠点を設立し、お客様のニーズに応じてまいります。

- <会社名> ブラジル岡谷鋼機会社
- <資本金> 30百万円相当
- <取扱品目> 鉄鋼製品、機械、化成品、食品、その他
- <人員数> 3名
- <設立> 2012年10月（予定）
- <取扱高計画> 2013年12月期 15億円  
2014年12月期 25億円

## 2. 機械・工具販売ベトナム現地法人の事業開始

2012年6月

当社グループの株式会社NaITO（JQコード：7624）が、ベトナム社会主義共和国ホーチミン市に機械工具等の販売子会社を設立し、事業を開始しました。

- <会社名> NaITO Vietnam Co., Ltd.
- <資本金> US\$ 500,000
- <業務内容> 機械・工具販売
- <人員数> 3名
- <設立> 2012年4月14日
- <売上計画> 2013年12月期 US\$ 630,000



NaITO Vietnam Co., Ltd.の入居ビル

## 3. 中国特殊鋼鋼材加工子会社の設立

2012年6月

中国大連市に特殊鋼鋼材加工子会社を設立することを決定しました。当社グループである株式会社岡谷特殊鋼センターの加工製造ノウハウを活かし、工作機械、建設機械業界向けに加工部品、素材などを販売することで、現地ユーザーのニーズに応じてまいります。

- <会社名> 岡谷特殊鋼製品（大連）有限公司
- <資本金> 80百万円相当
- <業務内容> 鋼材販売、鋼材切断品製造・販売、鋼材加工品販売
- <人員数> 7名
- <設立> 2012年9月
- <操業開始> 2013年1月（予定）
- <売上計画> 2013年12月期 90百万円  
2014年12月期 200百万円

## ホームページのご案内

岡谷鋼機のホームページでは、決算短信等の詳しい財務データや各種IR情報を掲載しています。是非一度ご覧ください。



・岡谷鋼機ホームページアドレス  
<http://www.okaya.co.jp/>

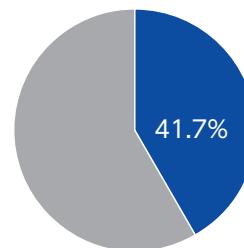
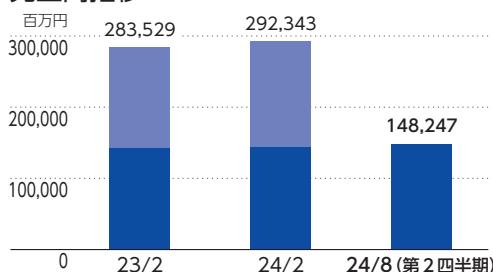
# セグメント情報

## 鉄 鋼



鉄屑、棒鋼、鋼矢板、H型鋼、鋼板、鋼管、機械構造用炭素鋼、合金鋼、軸受鋼、工具鋼、ステンレス鋼 他

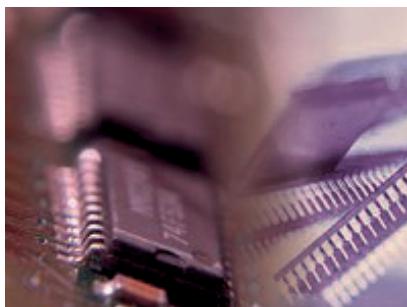
### 売上高推移



製造業関連では自動車、産業機械向けが好調に推移しましたが建設機械向けは下降局面に入りました。一方、建設・土木関連は公共、民間共に低迷しました。輸出は東南アジア、米国向けが増加しました。

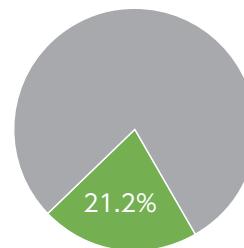
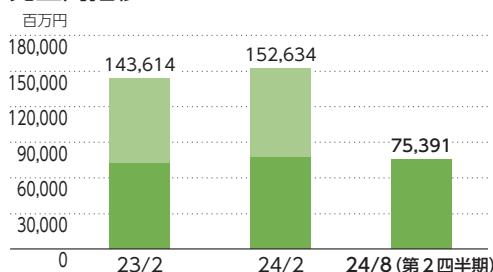
鉄鋼部門全体では、売上高は1,482億47百万円（前年同期比3.1%増）となりました。

## 情報・電機



銅・アルミ、レアアース、電子部材、汎用電機品、映像機器、半導体・周辺電子部品、ソフトウェア開発・販売 他

### 売上高推移



非鉄金属分野では、電子部品業界の低迷により電子部材の売上が減少し、また、原材料関連は製品需要低迷に加え相場下落により減少しました。エレクトロニクス分野では、家電向けは減少しましたが、自動車関連向けが順調に推移しました。

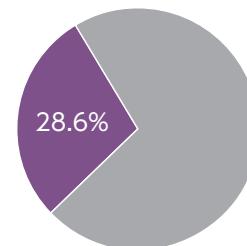
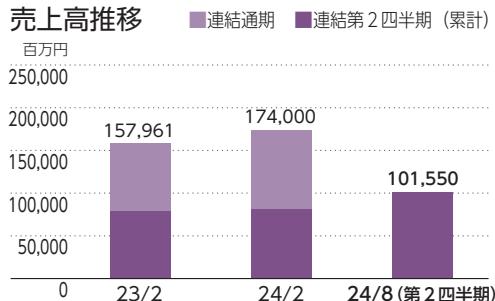
情報・電機部門全体では、売上高は753億91百万円（前年同期比2.8%減）となりました。

## 産業資材



工作機械、工具、産業用ロボット、自動車部品、合成樹脂原料、樹脂成形品、環境・リサイクル対応設備、半導体・電子関連設備機器 他

### 売上高推移



メカトロ分野、化成品分野ともに、大震災およびタイ洪水の影響がなくなり好調な生産が続く自動車向けに部品・工具、樹脂原料が大幅に増えました。メカトロ分野では海外向けを中心に設備機械も順調に推移しました。

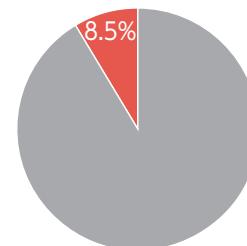
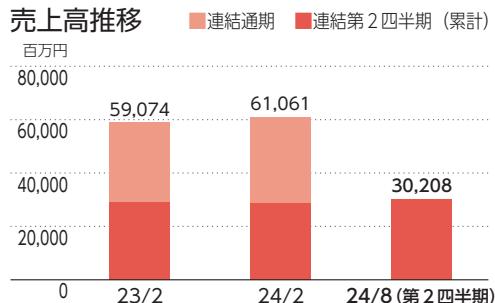
産業資材部門全体では、売上高は1,015億50百万円（前年同期比25.4%増）となりました。

## 生活産業



配管資材、住設機器、住宅用資材、不動産開発、分譲マンション、水産物、畜産物、倉庫業 他

### 売上高推移



配管住設分野では市販向け・ユーザー向けともに荷動きが悪く、ほぼ横這いでしたが、建設分野では請負工事の完工物件もあり微増となりました。食品分野では加工食品の輸入が順調に増加しました。

生活産業部門全体では、売上高は302億8百万円（前年同期比4.8%増）となりました。

# 四半期連結財務諸表

## 四半期連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月31日現在)	前連結会計年度 (平成24年2月29日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	229,936	230,610
固定資産	115,690	127,049
有形固定資産	39,503	40,091
無形固定資産	698	830
投資その他の資産	75,488	86,127
資産合計	345,626	357,660
<b>負債の部</b>		
流動負債	218,337	224,818
固定負債	38,019	40,640
負債合計	256,356	265,458
<b>純資産の部</b>		
株主資本	73,002	68,940
資本金	9,128	9,128
資本剰余金	7,798	7,798
利益剰余金	56,522	52,461
自己株式	△ 446	△ 446
その他の包括利益累計額	9,382	16,494
その他有価証券評価差額金	14,540	21,859
繰延ヘッジ損益	△ 9	18
為替換算調整勘定	△ 5,148	△ 5,383
少数株主持分	6,884	6,766
純資産合計	89,270	92,201
負債純資産合計	345,626	357,660

## 四半期連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当第2四半期連結累計期間 (平成24年3月1日から 平成24年8月31日まで)	前第2四半期連結累計期間 (平成23年3月1日から 平成23年8月31日まで)
売上高	355,397	331,169
売上原価	332,328	310,264
売上総利益	23,069	20,904
販売費及び一般管理費	16,872	16,894
営業利益	6,196	4,009
営業外収益	2,203	2,287
営業外費用	1,032	1,287
経常利益	7,368	5,009
特別利益	19	1,923
特別損失	226	540
税金等調整前四半期純利益	7,160	6,392
法人税、住民税及び事業税	2,329	1,144
法人税等調整額	△ 44	259
少数株主損益調整前四半期純利益	4,875	4,989
少数株主利益	235	149
四半期純利益	4,639	4,840

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当第2四半期連結累計期間 (平成24年3月1日から 平成24年8月31日まで)	前第2四半期連結累計期間 (平成23年3月1日から 平成23年8月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,484	△ 1,427
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,746	△ 1,455
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,037	2,821
現金及び現金同等物に係る換算差額	104	△ 90
現金及び現金同等物の増減額	805	△ 151
現金及び現金同等物の期首残高	6,985	6,774
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,790	6,623

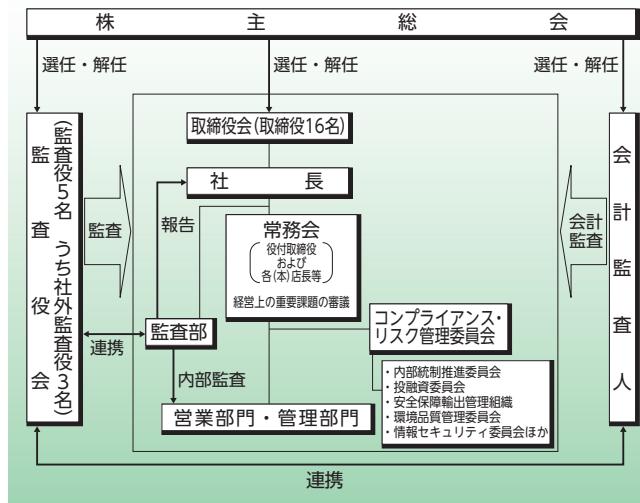
# 内部統制システムに関する基本的な考え方およびその整備状況

## 1. 基本的な考え方

企業としての社会的責任を自覚し、コーポレート・ガバナンス、コンプライアンスおよびリスク管理を経営の重要な課題と位置付けており、課題達成のためのインフラとして内部統制システムを位置付け、継続的に充実・強化を図っております。

## 2. 整備状況（詳細は当社ホームページをご参照ください。 <http://www.okaya.co.jp/>）

- ① 取締役・使用人の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するための体制
- ② 取締役の職務の執行に係る情報の保存および管理に関する体制
- ③ 損失の危険の管理に関する規程その他の体制
- ④ 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制
- ⑤ 当社および子会社から成る企業集団における業務の適正を確保するための体制
- ⑥ 監査役の職務を補助すべき使用人に関する体制と当該使用人の取締役からの独立性に関する事項
- ⑦ 取締役および使用人が監査役に報告するための体制その他監査役への報告に関する体制および監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制



# 利益配分に関する基本方針および株主優待について

## 1. 配当政策

当社グループは、株主に対する利益還元を企業経営の重要政策の一つと考えており、競争力を維持・強化して株主資本の充実に努めつつ、配当を行うことを基本方針としております。

## 2. 株主優待

当第2四半期（2012年8月期）株主優待として、8月末所有株式数1,000株以上の株主様に、《山の幻 愛知ミネアサヒ5kg》をお贈りいたします。

また、2月末所有株式数500株以上の株主様に、《山の幻 愛知ミネアサヒ5kg》をお贈りいたします。



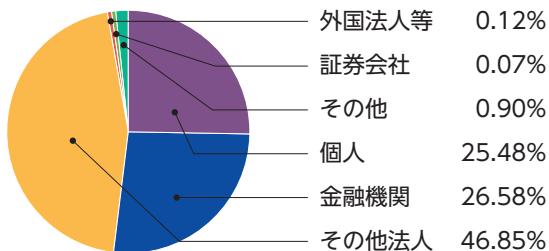
# 株式の状況 (平成24年8月31日現在)

## 株式の状況

株式数	
発行可能株式総数	177,856,000 株
発行済株式の総数	48,600,000 株
株主数	3,305 名

## 株式分布状況

### 所有者別割合



## 大株主の状況

株主名	持株数 千株	持株比率 %
岡谷不動産株式会社	6,071	12.60
岡谷篤一	2,406	4.99
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,314	4.80
新日本製鐵株式会社	2,120	4.40
三井住友信託銀行株式会社	2,010	4.17
株式会社りそな銀行	1,327	2.75
日本興亜損害保険株式会社	1,085	2.25
岡谷鋼機社員持株会	835	1.73
オークマ株式会社	776	1.61
公益財団法人真照会	693	1.43

- (注) 1. 持株比率は自己株式(423,427株)を控除して計算しております。  
 2. 新日本製鐵(株)は、住友金属工業(株)と平成24年10月1日をもって合併し、新日鐵住金(株)となりました。  
 3. 公益財団法人真照会は、将来社会に貢献し得る人材を育成し、併せて学術・技芸の振興を図るために必要な奨学援助をなすことを目的として、大正6年に創設されました。

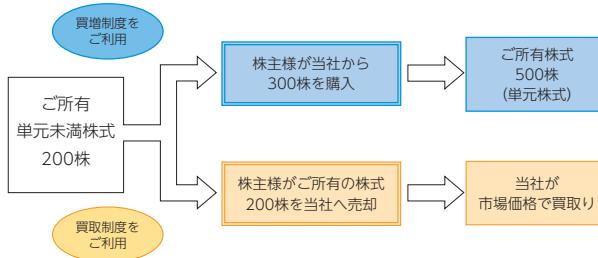
# 株式に関するお知らせ

## 単元未満株式の買取・買増請求について

当社の株式は1単元が500株となっており、単元未満株式(1~499株)については市場での売買はできませんが、当社に対して買取請求(売却)、または500株(1単元)となるよう買増請求(購入)をすることができます。お手続きの方法および用紙のご請求は、裏面記載の連絡先にお申し出ください。

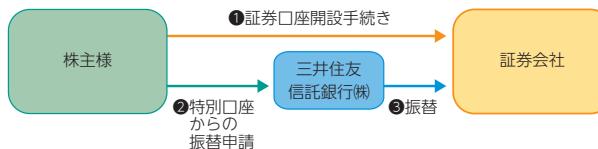
### 【単元未満株式買増・買取制度例】

○単元未満株式200株をご所有の株主様の場合



## 特別口座から証券会社の口座への振替申請について

特別口座\*に記録されている株式については、特別口座のままでは売買できません(単元未満株式を除く)。様々なお手続きを円滑に行うためにも証券会社の口座への振替申請をお勧めします。



\*特別口座  
株券電子化前にほふり(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった場合に、当該株式が記録される口座です。

# 株主メモ

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで  
定時株主総会 5月  
配当金支払株主確定日 期末配当 2月末日  
中間配当 8月31日

公告の方法 電子公告

ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。

電子公告掲載ホームページアドレス

<http://www.okaya.co.jp/ir/pn/>

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社  
連絡先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)  
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の全国本支店で行っております。

## 株式に関するお手続きについて

株式に関するお手続きは、①証券会社の口座に記録されている場合と、②特別口座に記録されている場合で、下記のとおり異なりますので、該当の窓口にお問い合わせください。

証券会社の口座に記録された株式		特別口座に記録された株式	
お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先	お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"><li>・単元未満株式の買取・買増請求</li><li>・届出住所・姓名などのご変更</li><li>・配当金の受領方法・振込先のご変更</li></ul>	口座を開設されている証券会社	<ul style="list-style-type: none"><li>・単元未満株式の買取・買増請求</li><li>・特別口座から証券口座への振替請求</li><li>・届出住所・姓名などのご変更</li><li>・配当金の受領方法・振込先のご変更</li></ul>	三井住友信託銀行株式会社証券代行部
<ul style="list-style-type: none"><li>・郵送物の発送と返戻に関するご照会</li><li>・支払期間経過後の配当金に関するご照会</li><li>・株式事務に関する一般的なお問い合わせ</li></ul>	三井住友信託銀行株式会社証券代行部	<ul style="list-style-type: none"><li>・郵送物の発送と返戻に関するご照会</li><li>・支払期間経過後の配当金に関するご照会</li><li>・株式事務に関する一般的なお問い合わせ</li></ul>	

## 「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取の株主様につきましても、配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただきます。

確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。



岡谷鋼機株式会社

